



応募名称

PDCAシステム活用による省エネルギーシステム

会社名、事業場名

日本マクドナルド株式会社

東京都新宿区 / <http://www.mcdonalds.co.jp/>

取組内容

【目的】

PDCAシステムに則った、継続性ある省エネルギー対策を実施しています。その取組としてエネルギー削減だけでなく、状況に見合ったエネルギー使用の最適化を図っています。また、直営店・フランチャイズ店共に同じ行動をとれるようシステム化し、省エネルギーを特別な対策とせず、通常業務の一部と位置付けています。

【具体的な内容】

以下の内容のPDCAシステムを実施しています。

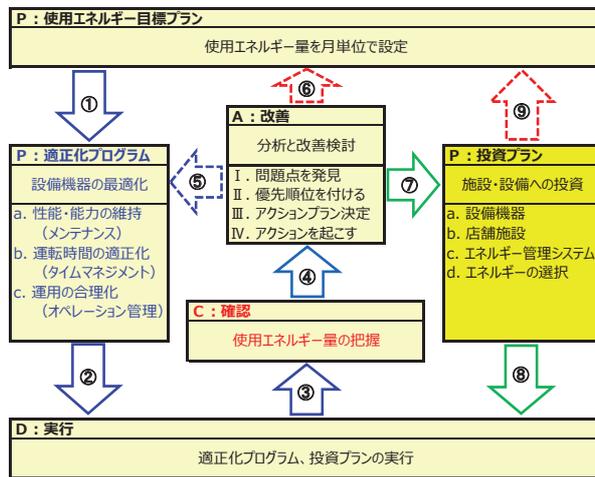
- P：エネルギー使用量 (Utility) 目標の設定。
- D：設備機器の最適化：
 - ・ブランドメンテナンス
 - ・タイムマネジメント (ドットシステム)
 - ・オペレーション管理 (スケジューリング、トレーニング)
- C：使用エネルギー量の定期的な検針による確認。
- A：分析・改善検討：

【最適化プログラム】

問題点発見⇒優先順位決定
⇒アクションプラン決定⇒アクションの実施。

【投資プラン】

投資プランに則り、投資の検討を行い、
設備機器の最適化、施設・設備への投資の結果は、
使用エネルギー量として評価し目標設定に反映。



これらのPDCAサイクルは通常業務の一部として作業の標準化が図られており、特徴は以下のとおりです。

- ①その状況・結果は店舗マネージャーの評価項目の一部である。
- ②フランチャイズ店、直営店に関わらず実施し、評価することができる。
- ③従業員（社員・アルバイト）が異動しても同じシステムで運用できる。

また、本社では店舗に最新機器の選定や紹介などを行っています。

【効果】

店舗平均エネルギー使用量

- ・2008年を基準に2009年から2016年までの全店で原油換算104,574klの使用量を削減、年平均削減率1.46%。
 - ・2008年を基準に2016年と比較すると、1店舗あたり9.2kl削減（下図）、全店で26,781kl削減。
- この削減量は、384店舗分のエネルギー使用量に相当する（2016年実績を基に計算）。



【今後の展開】

現在のPDCAシステムを継続し、より運用しやすいシステムを取り入れてシステムの向上を図るとともに、本社・本部では省エネルギー対応機器を検討・開発しつつ、より一層の省エネルギー・CO₂削減を促進していきます。

【評価】

省エネルギー対策に関する本社・本部の取組方針に基づき、店舗（直営店・フランチャイズ店）において日常業務として取り組めるルールを作成し、統一的に現場レベルで環境対策が実施できる仕組みを構築・実施している。また、「ブランドメンテナンスカレンダー」や「フードセーフティチェックリスト」など、各店舗で実施できるように現場作業レベルにまで手順化したものを準備し、設備機器の最適運用、エネルギーの効率化を実現し成果を挙げている点が評価できる。